

～10月から12月までの行事～

SS総合I校外学習（1年） 10/4

防災科学に関する興味関心を高め、自ら課題を見つけ出し、科学的な視点に立って課題を解決する力を養うことを目的として第2回目の防災地域科学校外学習が実施されました。

当日は9のカテゴリーごとに関係施設を訪れ、視察や講義、聞き取り調査を行う等、有意義な時間を過ごしました。

参加した生徒たちは今回の校外学習の成果を基に研究を進め、1月25日（水）の課題研究発表会でその成果を披露する予定です。各カテゴリーの視察地及び内容は次の通りです。

1 情報発信

◇ミヤギテレビ

【講義】「災害報道と災害時の情報発信」

【見学・説明】スタジオ・ニュースセンター・中継車

◇NTT東日本宮城支店

【講義】「災害時の通信と技術の進化」

2 教育

◇気仙沼市立階上中学校

【見学・説明】校舎見学、説明

【講義】「東日本大震災からの教訓-学校現場での防災教育の在り方」

【被災地視察】気仙沼向洋高校旧校舎及び仮設校舎

3 国際化

◇JICA東北

【講義】「海外の災害時における日本の支援・援助の現状と課題」

◇宮城県国際化協会

【講義】「被災時の在日外国人の状況と課題」

【懇談】在日外国人との懇談

4 医療

◇石巻赤十字看護専門学校

【講義】「東日本大震災時の本校の活動」

【講義】「被災時の石巻赤十字病院の対応と今後の課題」

【実習】「災害時に必要な応急処置」

5 食

◇尾西食品（株）宮城工場

【見学・説明】工場概要説明・α米食品等商品説明

【講義】「被災地で必要とされる食料とは」

◇（株）木の屋石巻水産美里町工場

【見学・説明】工場見学・会社概要説明

【講義】「震災から復活した工場」

6 エネルギー

◇東北電力仙台火力発電所

【説明】「発電所の概要について」

【見学】東北電力仙台火力発電所内見学・カッター施設見学

◇TBCハウジングステーション

【説明・講話】「3.11東日本大震災時の対応」

「TBCハウジングステーション仙台駅東口システム概要」

【鑑賞】「東北大学の取り組み」

【見学・調査】施設見学と聞き取り調査

7 建築・町づくり

◇積水ハウス東北工場

【説明・見学】積水ハウス東北工場内見学

【説明・体験・見学・取材】住まいづくり体験ミュージアム

◇泉ハウジングパーク紫山住宅展示場

【説明】「施設概要について」

【見学・調査】管理棟見学と聞き取り調査

8 ボランティア・地域生活・産業振興

◇南三陸ポータルセンター

【説明・視察】南三陸町被災地視察（防災庁舎～戸倉中学校）

【講義】「南三陸町の被災状況と復興に向けた取り組み」

【講義】「被災時から現在に至るボランティアの支援・活動」

<ボランティア課題研究班>

【講義】「被災後の南三陸町地域生活・産業振興プラン」

<地域生活・産業振興課題研究班>

9 スポーツ

◇アイスリンク仙台

【見学】施設見学

【講話】「被災から復活したアイスリンク」

◇NPO法人多賀城市民スポーツクラブ

【見学】スポーツクラブ内見学

【講話】「震災時対応と市民生活にスポーツが与えた影響」

SS総合II 課題研究中間発表会（高2）10/27

課題研究に取り組んでいる高校2年生が中間発表会を行いました。

今回はカテゴリーごとの発表となり、互いの進捗状況を確認したり、互いに感想やアドバイスを述べたりするなど、今後の研究の進め方について再確認する場となりました。



SSH研究発表会 11/11



本校が平成 24 年度から受けている SSH の研究指定も今年が最終年度となります。

そのため、これまでの研究の総まとめとして本校を会場に SSH 研究発表会が開催されました。

当日は午前公開授業が本校 SSH 運営指導員を始め、宮城県教育委員会から指導助言の先生方、近隣の小・中・高等学校および他県から多くの先生方をお迎えして行われました。

◇公開授業 I (3 校時目)

- ・高1 SS 数学 IA 「データの分析」 半澤光一郎教諭
- ・高1 SS ラボ「物質質量(mol)について理解しよう」
伊藤寛明主幹教諭
- ・高1 音楽 I 「西洋音楽史 I」 佐藤亮教諭
- ・高2 世界史 A 「世界史における科学・技術」 西田滋樹教諭
- ・中2 言偏「絵を分析しよう」 白鳥摩耶教諭
- ・中3 チャレンジ 英語「英語で日本文化を伝えよう」
松本由美教諭, 牛崎久美子教諭

◇公開授業 II (4 校時目)

- ・高1 言偏「ブックトークリレー」 大山義男主幹教諭
- ・高1 SS ラボ「物質質量(mol)について理解しよう」
伊藤寛明主幹教諭
- ・高1 コミュニケーション英語 I 「Energy」 佐々木岳志教諭
ALT Martin Milner
- ・高2 家庭基礎「被服材料の性質を知る」 佐藤明美教諭
- ・中2 理科「化学変化と原子分子」 齋藤弘一郎教諭
- ・中3 チャレンジ 数学「調べた課題について発表しよう」
菅原敏幸教諭, 後藤貴幸教諭

午後には、各分科会に分かれた討議と全体会が行われました。全体会では高校 2 年生のグループによる「イスラム国が若者を惹きつける魅力」と「消えたクロレラとグリーンヒドラの謎」の 2 つの研究発表が行われ、今後の研究に向けた活発な意見交換がなされました。



みやぎサイエンスフェスタ 11/12

科学的な探求活動の普及のため、県内小中高生、東北地区 SSH 指定校による理科・数学の発表会・交流会である「みやぎサイエンスフェスタ」が開催されました。本校からは 50 名の生徒が参加し、口頭発表やポスター発表による研究発表を行いました。



世界津波の日 高校生サミット in 黒潮 11/25~27



高知県黒潮町で開催された『世界津波の日』高校生サミット in 黒潮に 2 年生の佐藤菜々海さんと須田真理さんが参加してきました。日本を含む世界 30 ヶ国から集まった 300 名を超える高校生たちとともに、自然災害に備えて今私たちがなすべき事について、それぞれの研究成果を発表し、意見交換をしてきました。

タイ-日本高校生 ICT フェア 2016 12/19~24

「タイ-日本 高校生 ICT フェア 2106」がタイのプリンセス・チュラポーン・サイエンスハイスクール (PCSH) チョンブリ校



で実施され、タイ王国からの招待を受けて本校の 2 年生 2 名が参加しました。このイベントはタイ王国に 12 校ある PCSH の生徒を中心としたタイ王国の高校生 200 名と PCSH 各校と連携している日本の SSH 校から 30 名の高校生が集い、日頃の課題研究の発表や各種科学プログラムへの参加を通して交流を図るものです。

本校生徒は音楽が脳波に与える影響に関する研究について英語で口頭発表とポスター発表を行いました。期間中はチョンブリ校の生徒さんがバディとしてサポートしてくれた他、本校との姉妹校である PCSH サトゥン校の生徒の皆さんと交流する機会を持つなど、有意義な国際交流を深めることができました。



今後の SSH 行事

- | | |
|---------|----------------------|
| 1/8~14 | SSH タイ生徒研究交流会 海外研修 |
| 1/25 | 高校 1 年防災地域科学課題研究発表会 |
| 1/27~28 | 東北地区サイエンスコミュニティ研究発表会 |
| 2/10 | SSH 課題研究発表会 |

